

令和7年度 春期 システムアーキテクト試験 解答例

午後Ⅰ試験

問1

出題趣旨	
近年、デジタルトランスフォーメーションの取組などにおいて、システムアーキテクトが業務改革とシステムの導入に同時に取り組む機会が多くなっている。新しい業務モデルへの移行に当たっては、法令や社内の規則、諸事情による制約も多く、システムアーキテクトは、システムの導入に際して様々な制約を踏まえた設計を工夫しながら行う必要がある。 本問では、消耗品の集中購買化とそれに伴う業務システムの導入を題材として、ソフトウェアパッケージとのフィット&ギャップの分析や運用上の制約などを考慮して必要な機能要件を整理する能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	機能名	データ集計機能	
	金額	当該事業者の前月の検収済商品の合計金額	
設問2	① 機能名	相見積取得及びスポット注文機能	
	理由	調達は、A市規定類に基づく必要があるから	
	② 機能名	商品単価変更機能	
	理由	単価は契約時に定められているから	
設問3	(1)	納入する施設	
	(2)	A市規定類に基づき、納入が年度内の契約期間内に完了される必要があるから	
	(3) 用途	契約上の発注予定数量の範囲内かどうかを管理する。	
	状況	契約上の総額を超えない範囲で、物品ごとの発注予定数量を調整したいとき	

問2

出題趣旨	
新システムの構築に当たり、システムアーキテクトは、現行業務・システムの課題を調査・ヒアリングし、システムへの要求・要件を整理し、必要な機能を設計する必要がある。 本問では、営業活動を支援するシステムの新規構築を題材として、現行業務への課題及び要望を正しく理解、把握し、新システムの開発方針に従い、新システムの機能要件とデータ移行要件を定義することについて、具体的な記述を求めている。要件を正しく理解し、求められている情報システムを設計する能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	失注、契約済、取消		
設問2	時間帯	商談ツールに顧客情報を取り込んだ後の時間帯	
	理由	顧客管理システムからの顧客情報の取込みは1日に1回だから	
設問3	(1)	見積額、リスクレベル	
	(2)	所属組織と役職が人事システムにしかないから	
設問4	(1)	5年以内に商談がなかった顧客	
	(2)	営業担当者が指定する名刺交換日が正しいとは限らないから	
	(3)	営業支援プラットフォームに名刺サービスとの連携機能が標準装備される予定であること	

問 3

出題趣旨	
情報システムの再構築に当たり、システムアーキテクトは、業務の効率化や利便性を考慮し、新システムへの要望をシステム要件として設計する必要がある。 本問では、不動産売買仲介システムの再構築を題材として、現行業務を正しく把握し、新システムへの要望から情報システムに求められている機能を設計することについて、具体的な記述を求めている。要件を正しく理解し、求められている情報システムを設計する能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	物件の所在地と地域マスターの担当地域から該当する営業担当者を割り当てる。		
設問 2	①	・営業担当者が魅力的で効果的な物件情報の紹介文を検討すること	
	②	・マネージャが物件情報の紹介文に K 社として不適切な記載がないかどうかチェックすること	
設問 3	(1)	マネージャが売却許可の申請を承認した後	
	(2)	折衝履歴情報	
	(3)	当該契約の直近の営業活動報告書の提出日に契約別報告間隔を加えた日付と当日との差	
設問 4	(1)	物件ステータスの値が成約済，決済済，売却済の媒介契約数の合計	
	(2)	営業担当者ごとの媒介契約数と各物件の物件ステータスの値の推移	